

令和4年度補正  
品目団体輸出力強化緊急支援事業

米国におけるメロンのプロモーション  
及び市場調査

静岡県温室農業協同組合  
クラウンメロン支所

# A:米国、メロン（クラウンメロン）

出張期間 ① 2023年6月23日から7月5日

② 2024年1月18日から27日

## ① 出張行程

月日	時間	場所	内容
6/23 (金)	午後	東京ビッグサイト	展示会訪問、商談
		羽田空港周辺	早朝便のため前泊
6/24 (土)	午前11:00	羽田→ニューヨーク	移動
	午前10:55	JFK空港	到着
	午後	Javits Center	展示会準備
6/25 (日) ~27 (火)	終日	Javits Center	展示会出展
6/28 (水)	午前	ニューヨーク周辺	商談、同行営業
	午後	ニューヨーク → DC	移動
6/29 (木)	終日	ワシントンDC周辺	商談、同行営業
	夜	DC → アトランタ	移動
6/30 (金)	終日	アトランタ市周辺	商談、同行営業
7/1 (土)	午前	アトランタ市内	市場調査
	午後	アトランタ → シアトル	移動
7/2 (日)	終日	シアトル市内	市場調査
7/3 (月)	終日	シアトル周辺	商談、同行営業
7/4 (火)	午後 12:30	シアトル空港	出発
7/5 (水)	午後 2:50	羽田空港	帰国

## ② 出張行程

月日	時間	場所	内容
1/18 (木)	午後 5:00	成田→ロサンゼルス	移動
	午前 9:50	ロサンゼルス空港	到着
	午後	ロサンゼルス周辺	商談
1/19 (金)	終日	ロサンゼルス周辺	商談、市場調査
1/20 (土)	午前	ロサンゼルス→ラスベガス	移動
	午後	ラスベガス コンベンションセンター	展示会準備
	午後	ラスベガス周辺	商談
1/21 (日) ~23 (火)	終日	ラスベガス コンベンションセンター	展示会出展
1/24 (水)	終日	ラスベガス→シカゴ	移動
1/25 (木)	終日	The SAIC Ballroom	ジェットロ主催 商談会
1/26 (金)	午前 10:30	シカゴ→成田	移動
1/27 (土)	午後 3:00	成田空港	帰国

# A:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ①2023年6月23日から7月5日

## 1-1 クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション

- ・ 6月25日から27日にかけてニューヨークで開催された「Summer Fancy Food Show」に出展し、会場にてクラウンメロンのプロモーションを行った。
- ・ 3日間で延べ約1,000食を提供し、主に米国東海岸でのクラウンメロンの認知度向上と販路開拓に努めた。事前に現地のディストリビューターと商談を行っており、スムーズに取引に繋がれる準備をした上で展示会に臨んだ。
- ・ 展示会終了後は、フォローアップも兼ねて現地ディストリビューターと連携し、米国各都市（ニューヨーク、ワシントンDC、アトランタ、シアトル）での訪問営業を行った。新規の取扱に繋がった小売店やレストランもあれば、品質は良いが価格が合わないといった話もあった。



写真左：  
Summer Fancy Food Showでの商談の様子

写真右：  
シアトルの小売店で取り扱いが始まったクラウンメロン

# A:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ②2024年1月18日から27日

## 1-2 クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション

- ・ 1月21日から23日にかけてラスベガスで開催された「Winter Fancy Food Show」に出展し、会場にてクラウンメロンのプロモーションを行った。
- ・ 3日間で延べ約1,000食を提供し、主に米国西海岸でのクラウンメロンの認知度向上と販路開拓に努めた。本展示会の後には、シカゴにてJETRO主催の商談会に参加し、シカゴ周辺のレストラン関係者と商談を実施した。結果、ラスベガス周辺のレストランや、シカゴの小売店との新規成約に至った。
- ・ 展示会出展の前にはロサンゼルスに立ち寄り、現地のディストリビューターと展示会に向けた連携の確認、及びクラウンメロンの販売状況の確認と、今後の取引拡大に向けた商談を行った。



写真左：  
Winter Fancy Food Showでの商談の様子

写真右：  
シカゴでの商談会の弊所ブース



## B:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ①2023年6月23日から7月5日、②2024年1月18日から27日

### 2 米国での市場調査

- ・令和3年11月に米国向けメロンの輸出が解禁になって以降、クラウンメロンの取扱店舗は順調に増えつつある。ただし、解禁当初は買える場所も限られており、非常に貴重なイメージがあったものの、販路が増えるにつれ、様々な場所で目にするようになり、特別感が当初より薄まっているとの意見があった。
- ・上記のとおり、米国にてクラウンメロンの販路は広がりつつあるが、主には大都市の日系スーパーや日本食レストランであり、米系小売店での取り扱いはほとんどないと思われる。
- ・クラウンメロンは追熟させて食べ頃で食べてもらうのが重要であるが、取り扱っている小売店によって既に熟し過ぎたクラウンメロンが置いてあることもあった。



写真左：  
クラウンメロンを取り扱う米国の小売店

写真右：  
一般的な米系スーパーにて山積みで販売されているメロン

## C:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ①2023年6月23日から7月5日、②2024年1月18日から27日

### 3 米国事業総括

- ・ 輸出解禁後の積極的な営業活動の成果もあり、米国へのクラウンメロンの輸出は急速に伸びている。一方で、大都市部の日系スーパーや日本食レストランが中心の現状では販路拡大にも限界があるため、今後はこれまでとは異なる観点でのプロモーションも計画し、更なる販路の拡大を目指したい。
- ・ 本事業にて展示会へ出展し、米国だけでなく、世界中の来場者に試食を提供したが、品質においては世界に通用することが間違いないと確信できた。
- ・ 米国では急速なインフレで物価が高騰しており、経済の先行きは不透明なところもあるが、それでも消費者の購買力は以前として強いと感じている。
- ・ クラウンメロンが大変インパクトのある商品ということで、現地のSNSでも注目され始めている。今後も現地での認知度を上げる活動を継続することで、多方面への波及が期待できる。